

# 中央大学附属高等学校

〒184-8575 東京都小金井市貫井北町3-22-1 ☎042-381-5413 学校長 石田 雄一



(1号館の外観)

〈URL〉 <https://www.hs.chuo-u.ac.jp/>

**沿革** 明治42年(1909)前身の目白中学校創立。昭和10年(1935)杉並区に移転し杉並中学校と改称。同23年学制改革により杉並高等学校となり、同27年学校法人中央大学に合併、中央大学杉並高等学校と改称。同38年現在地に移転、中央大学附属高等学校と改称しました。平成13年(2001)男女共学となり、平成22年(2010)中学校が開校。

## 校風・教育方針

中央大学は「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神で、実学の探究を大事にしてきました。実学とは単なる理論の先行ではなく、実社会において本当に役立つ学問を意味します。この伝統は附属中高においても継承されています。中高大の一貫教育だからこそ、受験勉強にとらわれない、将来の生徒にとって本当に力となる学力、教養、ものの考え方の追求が可能です。中高ともに、知的好奇心を喚起する数々の独自科目を設けています。

また、自主・自治・自律の精神を重んじ、他人任せではなく、まず自分自身で考え行動し、責任を取ることが求められます。この点を尊重するうえで、高校では校則らしい校則もない自由な校風の学校です。

## カリキュラムの特色

本当に必要な知識、学力、ものの見方とは何か、という視点でカリキュラムが編成されています。中学では、法科大学院との連携で教授から授業を受け、大学院生とともに事件の有罪か無罪かを討論する法教育の授業を実施。高校では、教養総合  
◆今年度の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください

という独自の選択必修科目があり、興味関心のある講座を生徒自身が選びます。例えば「マレーシア・ボルネオのジャングル自然調査」であれば、年間を通じて多角的に授業を行い、秋にはフィールドワークでボルネオ島に向かいます。帰国後も学習を続け、その成果をまとめて全校を挙げての発表会に臨みます。高3では学びの集大成として卒論の作成も行います。英語では通常の授業とは別に、ネイティブの先生と英語の発信力を磨くProject in Englishを、6年間実施します。2018年度に大学との連携、独創的授業展開が評価され、文部科学省よりスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)の指定を受け、2023年度より第Ⅱ期の5年間をスタートしました。学会での発表に挑戦する生徒も多く、2023年度は日本鳥学会、日本森林学会の高校生ポスターセッションで最優秀賞に輝きました。

## 環境・施設設備

JR武蔵小金井駅の北西方、玉川上水沿いの閑静な絶好地に位置し、約5万㎡の敷地を誇ります。7階建て免震構造の1号館は、物理・化学・生物の実験室、コンピュータ教室、LL教室等の各種特別教室のほか、多目的ホール・生徒ホールなども設けられ、教育環境を一段と高めています。日本図書館協会建築賞を受賞した図書館棟(3号館)は、地下部分をもつ3層構造の独立した建物で蔵書数は約20万冊。高校図書館としては最大級の規模といえます。

講堂・第一体育館(4号館)は、地下1階から

地上1階部分にかけてが約1,600人収容の講堂、2・3階部分がバスケットボールの公式試合に対応した本格的な体育館です。2010年には、地下1階地上5階の中学校校舎が完成しました。

## 生活指導・心の教育

生徒の自主・自治・自律に基盤において学校が運営されています。例えば、高校では制服がなく、生徒自身に服装を判断させています。自分で善し悪しを考え判断し、自分の責任において行動ができるように、また義務教育である中学では、集団生活を送る上での必要なマナー、ルールについて指導をしています。

自己形成の糧となる真に価値あるものを発見する機会として、古典芸能・演劇鑑賞会、コンサート、講演会などを毎年各学年で開催しています。

## 学校行事・クラブ活動

新入生が中大附属生としての自覚を深めるオリエンテーション旅行や体育祭をはじめ、白門祭(文化祭)、芸術祭、教養総合成果発表会などの学校行事が実施されています。

クラブ活動は非常に盛んで、運動・文化部合わせて中学18、高校28の団体があり、約90%の生徒が加入しています。2023年度は、マンドリン部が全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールで全国2位の朝日賞受賞、ライフル射撃部が第78回国民体育大会少年ビームライフルMIX競技で第5位入賞、生物部が全国中学校高等学校オリエンテーション選手権大会団体競技リレーWEで優勝と、全国レベルの活躍をしました。

## データファイル

### 2025年度入試日程

中学校					
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
1回 約100	1/10~1/24	2/1	2/2	2/3	
2回 約50	1/10~2/3	2/4	2/5	2/6	
帰国生 若干	12/8~12/13	1/8	1/9	1/10	
高等学校					
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
推薦 約80	1/15~1/17	1/22	1/23	1/24	
一般 約120	1/25~2/4	2/10	2/11	2/12	
帰国生 若干	12/8~12/13	1/8	1/9	1/10	

### 2025年度選考方法・入試科目

**中学校**  
国語、算数、理科、社会  
〈配点・時間〉国・算=各100点50分 理・社=各60点30分  
帰国生:国語・算数(各100点60分)  
〈面接〉なし

**高等学校**  
推薦:書類審査、基礎学力試験(英語と数学各60点30分)、小論文(600字60分)  
【出願条件】内申 9教科の5段階評定に1、2がないこと  
一般:国語、数学、英語(リスニングあり)  
〈配点・時間〉国・数・英=各100点60分  
帰国生:国・数・英(各100点60分、英はリスニングあり)  
〈面接〉なし

### 2024年春併設大学への進学

例年大学より卒業予定者の約92%の推薦枠提示があり、今春の卒業者のうち約86%が中央大学に進学しました。※他大学併願受験制度があります。  
中央大学-328(法105、経済59、商64、理工33、文27、総合政策21、国際経営8、国際情報11)

### 2024年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
381人	372人	0人	1人	1人	0人	7人

### 2024年度入試結果

中学校 男/女					
募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	
1回 約100	195/280	172/262	64/70	2.7/3.7	
2回 約50	225/384	172/320	48/39	3.6/8.2	
帰国 若干	10/19	10/14	4/4	2.5/3.5	
高等学校 男/女					
募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	
推薦 約80	119/167	119/167	41/59	2.9/2.8	
一般 約120	418/328	397/314	118/86	3.4/3.7	
帰国 若干	32/35	29/29	6/15	4.8/1.9	

### 学校説明会 生徒・保護者対象、要予約

★中学校 9/7 11/2  
★高等学校 10/5 11/30

### 見学できる行事

文化祭 9/21・9/22(要予約)  
教養総合成果発表会(SSH成果発表会)(要予約) 2/19

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください